

見える化で
もうかるって

ほんまか? ほんまです!

もうかります!
ぜひお使いください

メリットの出ないものは、
決しておすすめしません



中野ミエルカ

本間工場長

利益アップに向けた取り組み

ご提案の稼働管理システムは、仕事の高効率化により
稼働率アップでコストダウンができます

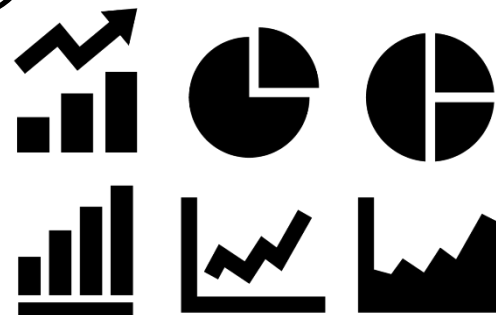


それは、私の専門じゃ
それが簡単にできたら
苦労はせん!



そんなもん、
あるか...

それが、従業員の能力を
無理なく引き出す
簡単なしくみ があります



それは「見える化」による一元的な管理です

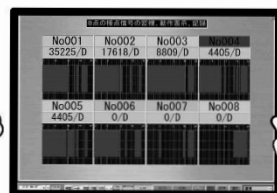
ダメダメ

それは、**逆効果**になりそうだ

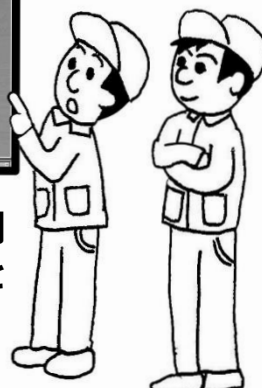
- 現場のやる気を下げてしまう
- 日報を見れば特に問題はない
- 人の監視は不要じゃ
- 無意識な抵抗で能率が下がる

ご提案の内容は**自由な自己管理**
ですので**管理する人は必要ありません**

どの機械がいつ止まりいつ動いた



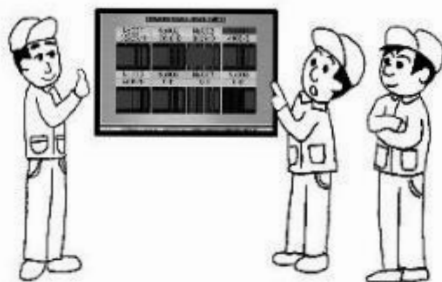
個別の運転時間
や停止回数等を
グラフで表示



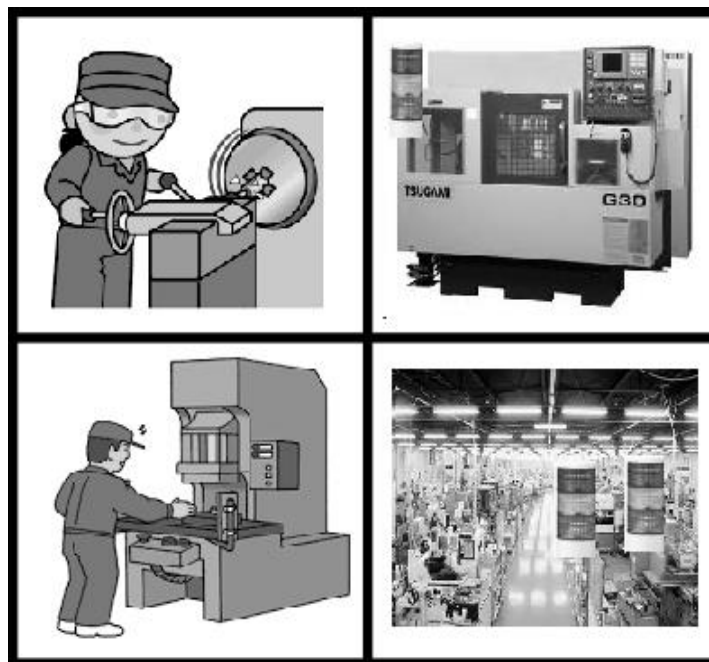
全自動のリアルタイムな個別の生産数
表示のグラフですので利用は各自の感
性に任せます。

本人の時間/日/月ごと作業能率が
分かります。また同一作業の他の人の情
報も参考になります。

各自がリアルタイムな情報や過去の情報
や他の人の情報も参考にして、
材料切れ等の簡単な**ケアレスミス**の防止
や前向きな競争意識等により1～2%の
稼働率アップはすぐに可能です



マシンごとの出来高



時間ごとの生産量



他との比較



長期トレンド



ダメだ・・・ 予算がない！

- 今は売上低下で余分な費用の捻出は一切できない
- 以前少しやってみたが費用対効果が大変悪い
- 予算がない、仕事が少ない、出費は減らしたい



おっしゃる通りですが、もし、
約半年で元が取れて、
コストダウンによる利益アップ
になればいかがでしょうか？



会社の売上アップに繋がれば
全員ハッピーになれます
現場の士気も上がります



なに！**約半年で
元が取れてる？**

ほんまか？



ほんまです！！

ご提案のシステムは

①**配線工事費用を安価**に抑えられます（社内工事可）

2本線の電線の平行接続で256台までの個別稼働管理が可能。※
配線ルートが自由で、電線種別不問、ペンチとドライバが使えるば
誰でも2本線の接続で簡単に稼働信号取り込みの接続ができます。

②**既存の制御盤やソフトの改造は一切不要**です

制御盤と電氣的に隔離した状態で稼働信号を取り込みます。
必要な場合は非接触センサで稼働情報をのぞき見します。

③**豊富な機能を標準装備**した稼働管理システム

用途、分野に応じた多様な機能の組合せを可能にした標準化でコスト
ダウンを図り、必要な機能をチョイスできる即納体制を整えています。

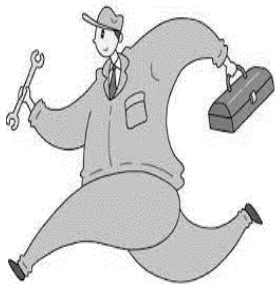
※特許技術により2本線の平行接続で個別の稼働信号が管理できます。 特許第5939698号他



コストダウン、利益アップはなんとなく分かったが、
実は他の問題もあるんや...

**それは今、管理ができる担当者の負担が重すぎることや
せやさかい、**

- ① 新たな稼働監視、生産管理の仕組みづくりが大変
- ② 管理をする担当者は今でも仕事量が多すぎる
- ③ 生産要員でない間接の管理要員を増やしたくない
- ④ 「見える化」しても後の効率化をする人も時間もない





ダメだ・・・
担当の負担
が重い

- ①稼働監視、生産管理の仕組みづくりが大変
- ②管理をする担当者は今でも仕事量が多すぎる
- ③生産要員でない間接の管理要員を増やしたくない
- ④見える化」しても後の効率化をする人も時間もない

実は、管理者のご負担がありません

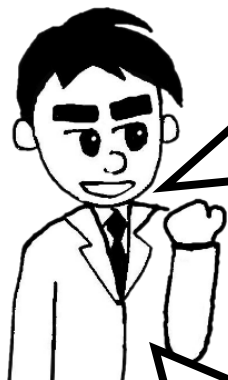
①稼働管理の内容
は各種の標準機能の中
から最適な方法を
選ぶだけです

②各種の運用方法
をご提示しますので
担当者様との
打合せも1回
ほぼ完了します

③自動起動で稼働状
況の表示をしますので、
**運用中も管理者は
不要**です

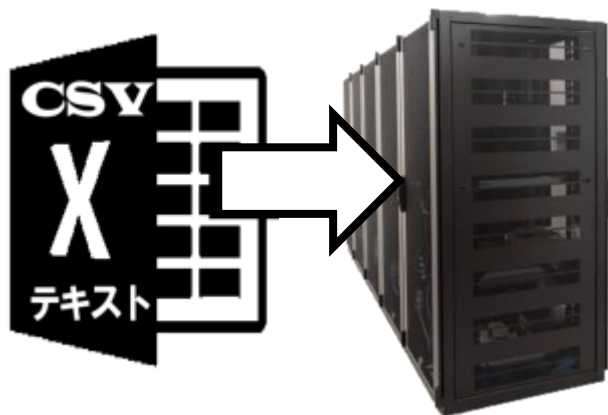
④時間別グラフ等で
自由な自己管理方法
ですので、
個々に監視する
必要はありません





モノづくりに一番重要な生産管理
ですがその中でも
「稼働管理」は
直ぐに結果が出て、
費用対効果が抜群です

また、日報や月報等の
稼働情報はCSVでどこからでも
リアルタイムに共有できます



サーバー
生産管理システム
汎用パソコン等

生産計画	部品管理	稼働管理
資材管理	予算管理	進捗管理
販売管理	原価管理	作業分析
仕入管理	工程管理	日報管理
製造管理	作業管理	品質管理
在庫管理	納期管理	出荷管理

生産管理システムの各管理項目

私のパソコン
からも見えるんか
ええなあ♪



変動要因を解析して能率アップ

- ・時間、日、月、曜日別の能率
- ・天候、温度、季節別の変化
- ・同一の機械、同一ロットでの個人差
- ・個人ごとの同一作業のばらつき努力の結果
- ・個人要因や機械要因による経年変化

